

自由曲線ブロック(GRFブロック)

土留め擁壁用中型ブロック

登録

登録番号

登録番号	認定年月日
A-2048	2009年6月19日

特許

特許番号

取得年	特許番号	取得件数	状況
			未取得

NETIS

登録番号

登録名称	登録番号	登録年月日
未登録		

概要・特徴

概要

内外カーブが自由に施工できる、土留め擁壁用中型ブロック

特徴

間知ブロックと比較して、普通作業員で施工できる・施工が早い・法面で内外カーブが自由に出来る。

特長

自由曲線ブロック

已種類のブロックを組み合わせることでより直線及び曲線の施工延長を自由に定めることができ、調整が容易に行えます。

施工延長の調整が容易でしかも曲線施工の場合、間地コンクリート等は不要となるため、作業性も良く、景観を損なうこともなく、また他の部分と同様の強度が確保できます。

独自の施工法を引用でき、効率の良い作業が行えます。

重量は軽量化を図り、形も自立安定型としたため、転倒防止措置は不要であり安全な作業が行えます。

特殊な技術、また異型枠も必要ないので施工が非常に簡単です。

カーブ施工での目地による調整が一切不要。

カーブでの間地コンクリート等が一切不要。

施工延長調整方法

施工延長が調整できることにより、直線でも延長に合わせた作業ができ、カーブでも自由自在な施工ができます。一箇所の目地で5m、計4mの調整が行えます。

- 施工延長 3.85m (例A)
- 施工延長 4.00m (例B)
- 施工延長 4.15m (例C)

※目と目との組み合わせの幅が目地が異なるので調整寸法も異なります。

ブロックの個数による延長調整範囲

個数	A・Bの組み合わせ				B・Cの組み合わせ				
	延長	調整	範囲	調整	延長	調整	範囲	調整	
8	6.7	-1.8	2.1	-0.9	7.1	-4.8	-1.8	2.1	-0.9
9	7.8	-1.7	2.1	-0.9	7.8	-5.8	-1.7	2.1	-0.9
10	8.9	-1.6	2.1	-0.9	8.6	-6.8	-1.6	2.1	-0.9
11	10.0	-1.5	2.1	-0.9	9.7	-7.8	-1.5	2.1	-0.9
12	11.1	-1.4	2.1	-0.9	10.8	-8.8	-1.4	2.1	-0.9
13	12.2	-1.3	2.1	-0.9	11.9	-9.8	-1.3	2.1	-0.9
14	13.3	-1.2	2.1	-0.9	13.0	-10.8	-1.2	2.1	-0.9
15	14.4	-1.1	2.1	-0.9	14.1	-11.8	-1.1	2.1	-0.9
16	15.5	-1.0	2.1	-0.9	15.2	-12.8	-1.0	2.1	-0.9
17	16.6	-0.9	2.1	-0.9	16.3	-13.8	-0.9	2.1	-0.9
18	17.7	-0.8	2.1	-0.9	17.4	-14.8	-0.8	2.1	-0.9
19	18.8	-0.7	2.1	-0.9	18.5	-15.8	-0.7	2.1	-0.9
20	19.9	-0.6	2.1	-0.9	19.6	-16.8	-0.6	2.1	-0.9

()内：標準施工用延長

施工手順

- ①基礎を設置後、まずBタイプを敷きます。
(BとAの場合、Aから敷いても可)
- ②A(C)タイプを挿入します。
- ③裏込め砕石を入れます。
- ④裏込めコンクリートを注ぎ入れます。

自由曲線ブロック施工例

施工面積 120㎡
施工手続 1.6mR

自由曲線ブロック施工例

施工面積 420㎡
90°コーナー（入隅）

自由曲線ブロック施工例

施工面積 300㎡
施工手続 1.5mR

適用条件・適用範囲

間知ブロックで施工可能な箇所は全て対応できます。また、間知ブロック施工条件以外の場所は、別途安定計算により施工可能です。

留意事項

特になし

期待できる効果

効果一覧

経済性	施工性(省力化)	品質向上	環境	安全性・快適性	バリアフリー等
有	有	有	有	有	無

コスト情報

350タイプ=15,000円/m²

施工実績

施工実績一覧

施工年	路線・河川名	施工場所	工事名	発注者	施工者
2008年	新井横谷松谷線	吾妻郡吾妻町	路線改良工事	国土交通省	池下工業株式会社
2008年	楡木地区	吾妻郡吾妻町	造成工事	国土交通省	株式会社新井組
2008年	町道5284号線	吾妻郡吾妻町	道路新設工事	国土交通省	岩崎工業株式会社

問い合わせ先

群馬県自由曲線ブロック工業会